

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



繋ぐ～今こそ笑顔をお届けよう～

【特集】

第20回
花粋祭が開催されました

- VOICE
- 医学シリーズ 整形外科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日8:30～17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

花粋祭が開催されました

「縮小して花粋祭を開催しました」



第20回『花粋祭』を10月9日(金)に、熊本医療センター研修ホールで開催しました。

例年、地域の皆様に参加して頂いていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、母体病院の職員の方々を対象に開催することになりました。

学生は限られた当校日を活用しながら準備に取り組み、当日を迎えることができました。ステージ発表や健康体操、模擬店、生け花体験などに参加して頂いた職員や、“おもてなし”をしている学生に笑顔がみられ有意義な一日となりました。

来年の花粋祭には、ぜひ、地域の皆様に参加して頂ける状況にあることを願っています。

たなか きよみ
教員 田中 紀代美



「花粋祭を通して」

花粋祭実行委員長 2年 草野 美波

今年度の花粋祭のテーマは『繋ぐ〜今こそ笑顔届けよう〜』でした。新型コロナウイルス感染予防対策による自粛生活が続く、学生同士の交流が中々できない状況だったため、この行事を通して、心と心のつながりを深め、また来場された方に笑顔届けたいと考え、このテーマにしました。花粋祭当日は、母体病院の院長先生をはじめ、看護部長さん、看護師さんなど多くの職員の方の協力もあり花粋祭が成功できたことに感謝しています。



私は、花粋祭を通して、改めて仲間と協力することの大切さ・団結する力の素晴らしさを実感しました。今回の経験を活かし、学校生活においても仲間と協力し、先輩・同級生・後輩との繋がりを大切にしながらお互いを助け合える関係を築いていきたいと思います。

VOICE

登録医の声

そえだ歯科医院

そえだ せいや
院長 添田 誠也



◆貴院のアピールをお願いします

当院は平成6年に北区植木町に開院しました。

開業初期より予防歯科に重点をおき、できるだけ削らないですむ歯は削らずに、保存可能な歯は保存するという方針のもと治療をおこなっています。インフォームドコンセントには注意を払い、治療の選択を患者さまと相談の上決定し、リスクのある患者さまは医療センターなどの高次医療機関を積極的に紹介するようにしています。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

大学時代は空手道部で過ごし、子供が小さいときまではたまにやっていたのですが現在は運動不足です。

最近ではメタボに注意しながら、美味しい物がないか探し回っています。最近よく行くのは、南区平田の「うな専」、もともと近見の名店で熊本地震の後閉店、最近復活して頑張っています。

あと、県外では広川の焼肉の「大昌園」、魚料理では福岡今泉の「魚忠」がお気に入りです。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

開業当初より医療センターには大変お世話になっています。口腔外科に中島先生が赴任されてからは患者さまの紹介も積極的に受け入れていただき非常に感謝しております。

また、周術期治療前後の口腔ケアの患者さまをご紹介いただき感謝しています。

患者さまの高齢化が進んで、医療センターを紹介しても連れていく人がいないという事例もあり、地域においてどうするかが今後の課題と思われま

【診療科目】

歯科・小児歯科

【診療受付時間】

月～金 9:00～12:30

月～金 14:30～18:30

土 曜 9:00～13:00

【休診日】

日曜・祝日

【住所】

〒861-0106 熊本市北区植木町豊田 1419-1

【TEL&FAX】

096-273-4417



最近のトピックス

両側同時人工膝関節置換術は片側症例よりも患者満足度が高い。

整形外科部長、センター統括長 **福元 哲也**
理学療法士長 **田中 正則**

人工関節センター長 **中馬 東彦**
理学療法士 **三輪 栄太郎**

変形性膝関節症ならびに関節リウマチの症例のなかで変形や骨破壊が高度なものに対し人工膝関節置換術(以下TKA)が広く行われており、その除痛効果は非常に高く、現在では耐久性も20年から30年と飛躍的に伸びてきています。しかし従来は、出血が多い、術後の痛みが強い、何よりリハビリが大変な手術と言われてきました。これに対し、現在当院では、出血対策としてドレーン非留置及びトラネキサム酸を使用することでほぼ輸血の必要がなくなり、術後の疼痛対策としてカクテル療法(ステロイド注入)と神経ブロック療法を併用することで疼痛コントロールが良好にできるようになっています。さらに術後4日間の炎症期には他動的な膝可動域訓練を行わないことで過度に痛みを感じることなく、その後自然と可動域が得られるようになってきました。

膝関節は両側同時に悪くなることが多く、片側だけの手術を行った場合は、非手術側の痛みや変形が残っているため、リハビリが思うように進まないことも少なくありません。そのため当院では2013年10月より患者同意の得られた症例に限って両側同時の人工膝関節置換を行っています。2020年10月まで119例(238膝)を行い、同期間の片側例は483膝でした。両膝の場合、全身麻酔手術になるため、喘息や高度の心不全症例、さらにDVTの既往症例は片側ずつとしています。高齢(最高齢92歳)、腎障害、DMは適応除外因子とせず行っています。

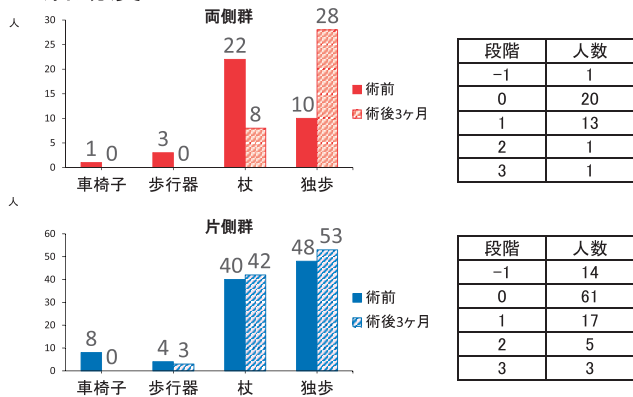
両側TKAと片側TKAでは手術時間は平均でそれぞれ200分と110分、術後翌日のHb低下は平均で2.2g/dl

と1.58g/dlでした。いずれも術前8g/dl以下の症例に輸血を行ったのみで、貯血は必要としません。両側例では術後1週間が移動時の不便を感じてはいましたが、ほぼ全例が1週間で歩行器歩行が開始でき、3週間で約1/4の症例が自宅退院となっていました。しかし現在では、術後リハビリを充実させる目的で、術後2週間での転院を勧めさせていただいています。

同時期に行われた両側TKA(両側群)92膝と片側TKA(片側群)100膝について可動域変化、活動性、VASそして患者満足度は日本版変形性膝関節症機能評価尺度(以下JKOM)を用いて術後成績を比較評価しました。可動域獲得は術後3か月で両側群の方が有意に伸展、屈曲ともに改善し、活動度では術後3か月では両側群の方が独歩可能になる症例が多くみられていました。そしてVASとJKOM総得点も両側群の方が大きく改善する傾向がみられました。これらの結果は、両側群では非術側の疼痛やアライメントなどの影響を受けずに術後療法を進められ、治療期間が延長することなく、元の歩行能力がそれ以上に改善し、良好な経過と患者満足度が得られたこととなります。

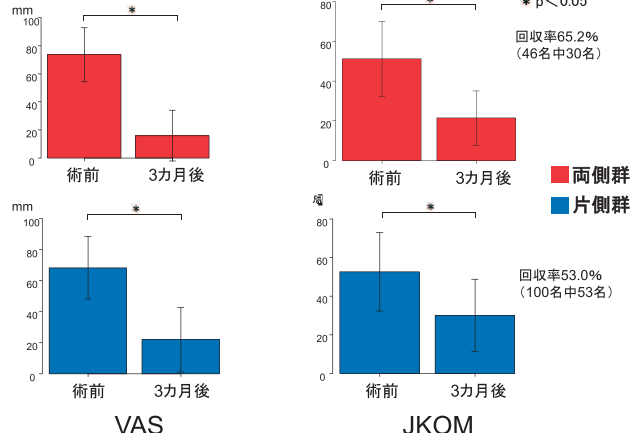
外来でも両側同時例の患者さまは、片側例の患者さまの倍の笑顔でよかったと言われる方を多く見受け、手術費用の患者さま負担の面でもメリットが大きく今後も両側同時人工膝関節を勧めたいと思っています。痛みをとって歩きたいと希望される患者様のご紹介よろしくお願いたします。

～活動度～



術後3か月で両側群は独歩可能が多く、片側群は杖と独歩がほぼ同数で大きな改善なし。

～QOL評価～



VAS: 術前 vs 3か月後 (両側群 vs 片側群) * p<0.05

JKOM: 術前 vs 3か月後 (両側群 vs 片側群) * p<0.05

回収率65.2% (46名中30名)

回収率53.0% (100名中53名)



臓器提供の意思表示の取材について

救命救急部長
原田 正公

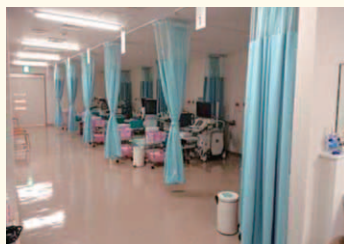


「いのちをつなぐ 思いをつなぐ～臓器提供意思表示～」というテーマで、「くまモンスマイルジャンプ!」の取材を受けました。熊本医療センターは、救命救急センターとして全職員を挙げて懸命の救命救急医療を提供していますが、残念ながら脳死となられる方もいらっしゃいます。これまで約5人の脳死下臓器提供を行いました。患者さまやご家族の尊い意思を受け止めて、病院を挙げて臓器提供を待っている日本全国の患者様にいのちをつないでいます。



超音波検査センターが稼働しました

臨床検査技師
今鷹 貴梨子



令和2年10月26日(月)から超音波検査センターが稼働しました。検査室が統合され、一ヶ所で全ての検査が実施可能となりました。今後は機器稼働率を挙げ、より一層患者さまサービスの向上へ繋げていきたいと考えています。

第26回 国立病院機構熊本医療センター医学会の開催と演題募集のご案内

すでにホームページでご案内をしております通り、第26回国立病院機構熊本医療センター医学会が2021年1月16日(土)に国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターにて開催されます。

例年通り病院全体の職種が参加し発表します。

開放型病院登録医の先生方にも是非ご発表頂きたく演題募集をさせていただきます。

応募方法は演題抄録をCDRまたはUSBメモリに入れて下記宛てにご送付頂くか、e-mailにてご送信下さい。多数のご参加をお待ち致しております。

抄録提出締切日：2020年12月4日(金)

- 抄録の文字数は全体(演題名、所属、発表者、共同演者、本文)で600字以内にして下さい。
- 本文は【目的】【方法】【結果】【総括】、症例報告は【目的】【症例】【経過】【考察】にそって記述して下さい。
- 図表の使用はできません。半角カナは使用できません。
- 尚、発表は原則としてPCで、使用ソフトはパワーポイントで作成したものに限りです。
- 発表時間は6分、討論3分です。
- 参加費は無料です。

お問い合わせ・送付先：〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号

国立病院機構熊本医療センター医学会実行委員 臨床研究部長 富田正郎
TEL:096-353-6501 FAX:096-325-2519 E-mail:takahashi.kazue.ck@mail.hosp.go.jp

研修医レポート

臨床研修医

玉野井 俊介
たまのい しゅんすけ



こんにちは。研修医1年目の玉野井俊介と申します。私は久留米大学を卒業し、今年の4月から熊本医療センターで研修させていただいております。

初期研修医の2年間は複数の診療科で決められた期間を研修する制度となっており、私は消化器外科から研修をスタートすることになりました。最初の数週間はカルテの基本的な使い方すら分からず、病棟のシステムや他職種の方々との関わり方といった医療者として働く上での作法について学ぶことでいっぱいでした。ほんの数ヶ月前までのんびりとした学生生活を送っていたもので、実際の医療現場の

スピード感についていけず自分が足手まといになっていると感ずることが何度もありました。しかし、医療センターは指導医の先生方をはじめ医療スタッフの方々が本当に優しいばかりで素人同然の一年目研修医をフォローしていただく場面が多々あり、こんな温かい雰囲気の中で研修できて本当に幸せだなと思います。

消化器外科、循環器内科、消化器内科の研修を経てこの原稿を書いている現在は麻酔科で研修させていただいております。麻酔科は手術室で患者さまが眠っている間の全身管理を一手に引き受ける科であり、呼吸や循環について多くのことを学ぶことができます。ルート確保から気管挿管、腰椎穿刺にいたるまで医師として身につけるべき多くの手技を指導医の先生方のもとで実践する機会が多く、あれでもないこれでもないと試行錯誤しながらも自分の成長を実感する充実した毎日を送っています。

この恵まれた環境に感謝しつつも甘えることなく、より一層の努力を重ねていく所存です。2年間と短い間ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

臨床研修医

大保 宏允
おおほ ひろみつ



こんにちは。研修医1年目の大保宏允と申します。熊本大学医学部医学科を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。

研修医となって早くも半年ほどが過ぎました。私は消化器内科から研修をスタートしましたが、当初は医学・医療の知識云々の前にカルテの使い方など業務の初歩的なことから分からず、全く何もできない自分の無力さを感じる日々でした。そんな自分に1から教えていただき、指導医の先生を始めとした先生方には感謝しかありません。

それから数ヶ月経ち、以前に比べると少しは慣れてきたようにも感じます。

しかし消化器内科の後、これまで、麻酔科、救急・総合診療科、外科、と研修をさせていただきましたが、各科で当然色々違いがあり、慣れた頃にまた次の科に移るといった感じで、未だ四苦八苦しているところです。

ただ、その分新しい経験・発見も多くありますし、多くの先生方に、研修医・医者としての姿勢や考え方から、検査のデータや訴え・症状の何に注意すればいいかなどまで教えていただき、無知な自分にとってはとても新鮮です。今はまだなかなか全てをものにしていくのが難しいですが、少しずつ積み上げて今後に生かしていきたいと思っております。

これからも多くの診療科で研修をさせていただく中で、まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2020
12月

研修日程表

研修日程表への問い合わせはこちら
 国立病院機構熊本医療センター
 地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
 QRコード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ（<https://kumamoto.hosp.go.jp>）をご参照ください。

12月	研修センターホール	研 修 室
1日（火）		
2日（水）		
3日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー 18：30～20：00 第104回 特別講演 [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 座長 国立病院機構熊本医療センター副院長 日高 道弘 「画像診断の最前線」 熊本大学大学院生命科学研究部放射線科診断学講座教授 平井 俊範 先生	
4日（金）		
5日（土）	15：00～17：30 第37回 診断と治療 -最新の基礎公開講座- [Web配信あり] 「消化器外科領域の腹腔鏡下手術 -現状と今後の展望-」 [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定] 座長 魚返外科胃腸科医院 院長 魚返 英寛 先生 (1) 当科における腹腔鏡下手術① 国立病院機構熊本医療センター外科副部長 久保田 竜生 (2) 当科における腹腔鏡下手術② 国立病院機構熊本医療センター外科副部長 井上 光弘 (3) 消化器癌におけるロボット手術の現状 熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学助教 岩上 志朗 先生	
6日（日）		
7日（月）		
8日（火）		
9日（水）		
10日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
11日（金）		
12日（土）	13：00～15：30 第159回 公開看護セミナー 「看護実践における情報活用と看護力の醸成」 鹿児島大学病院医療情報部教授/部長兼副院長 宇都 由美子 先生	
13日（日）		
14日（月）		
15日（火）		
16日（水）		
17日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
18日（金）		
19日（土）		
20日（日）		
21日（月）		19：00～20：00 第262回 月曜会（内科症例検討会）（研修室2） [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定] 1. 救急科からの一例 2. 総合診療科からの一例
22日（火）		
23日（水）		
24日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
25日（金）		
26日（土）		
27日（日）		
28日（月）		
29日（火）		
30日（水）		
31日（木）		

◎Web配信をご希望の方はこちらまでメールでお問合せください⇒ mng.kumamoto@deluxe.ocn.ne.jp

※新型コロナウイルスの影響で予定が変更になる場合がございます。

最新の情報につきましては、ホームページでご確認をお願い致します。

患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話

096-353-6693

直通 FAX 096-323-7601

受付 平日 8：30～17：00

熊本医療センター
 地域医療連携室副室長

とみたか えつし
 富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

令和2年12月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	小野 宏 (午前紹介/院内コンサルト)原 英記	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑	中村 朋文	松永 英士	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 志茂田 (東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東 (志茂田)
		午後	東 志茂田 馬見塚 (中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野 (松山)	中田 上野 馬見塚 (石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野 (志茂田)	杉 松山 志茂田		
心臓血管センター (循環器内科) (心臓血管外科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 木村(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週 新患) 野津原 淳(隔週 新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	手術日		岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めての方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大潮 一太	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之 吉田 敬伸	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 吉田 敬伸	
	免疫	水上 智之		水上 智之			
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科) (脳神経内科)	大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里		
	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元		
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 拳博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 拳博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大	
泌尿器科	前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘刈 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔		
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一	
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹		
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士					
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 田中 健一 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文					
		中川 文雄		中川 文雄	中川 文雄		
救命救急センター	國友 耕太郎	原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、渋沢 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史			宮内 大介		
看護外来	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師		
移植後フォローアップ	専門看護師 他		専門看護師 他	専門看護師 他	専門看護師 他		
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R2/12/1